

おとなも子どもも、  
こんな学校に  
行きたかった！



監督：オオタ ヴィン  
「いただきます」シリーズ

ナレーション  
吉岡秀隆  
エンディングテーマ  
ザ・ブルーハーツ

# 夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる「ミライの教育ドキュメンタリー」

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向け令和3年12月20日

5月24日(金)  
10:30-12:30  
(受付開始 10:00)

5月25日(土)  
10:30-12:30  
(受付開始 10:00)

5月25日(土)  
13:30-15:30  
(受付開始 13:00)

開催場所 東大阪市リージョンセンターやまなみプラザ (東大阪市南四角町1-7)

参加費 大人：事前申込 600円 当日 800円 子ども(高校生以下)：無料  
※上映当日にお釣りのないようご準備ください

午後の部終了後に、感想シェア会・交流会を実施



## 「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所で大上映された映画「いただきます」オオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てくださいね!



小学生が作ったよ!



ナレーション  
吉岡秀隆



エンディングテーマ  
ザ・ブルーハーツ



## 映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考える子カラ」が身につくのです。

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。



堀 真一郎

(きのくに子どもの村学園学園長)



茂木 健一郎

(脳科学者)



尾木 直樹

(教育評論家)



西郷 孝彦

(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか? お申し込みは、まほろばスタジオ▶



## 子育てと教育のあり方を考える

未来を担う子どもたちを、家庭と地域・学校が一体となって育て見守る社会を作るため、そして「ホーム(家庭・生まれ育った地)」が、子どもだけでなく誰もが皆「自分らしく」暮らすことができる場所であるための「ベース(基盤・土台)」作りを支援・提案し、魅力的で住み良いまちづくりの実現を目指します。

主催団体: ~ほ~むべ~す~ 後援: 東大阪市・東大阪市教育委員会

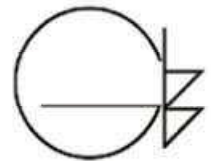


「夢みる小学校」上映会申込はコチラ▶



~ほ~むべ~す~代表  
親子コミュニケーションコーチ  
しまだたかこ

協賛企業様



Galaxy Books

<https://galaxyinc.co.jp/>

※この事業は令和6年度東大阪市地域まちづくり活動助成会の交付を受けて実施しています